

北南 極極 ★ 展

2015 9.19sat – 10.17sat 桐蔭学園アカデミウム ソフォスホール

開館時間 = 10:30-17:30 (最終入館 17:00) 入場料 = 無料 休館日 = 9/20(日), 21(月), 10/4(日), 11(日), 12(月)

※9/26,27 は学園祭開催のため、開館時間が 9:30-16:30 (入館は 16:00 まで) となります。

主催 = 学校法人桐蔭学園 協力 = 国立極地研究所、京都大学理学研究科地球科学輻合部ダジック・チーム、ミサワホーム

お問い合わせ先 = 桐蔭学園アカデミウム 神奈川県横浜市青葉区鉄町1614 TEL.045-975-2100 <http://toin.ac.jp/ma/>
バスでのご来場をお願い申し上げます。東急田園都市線 市が尾・青葉台各駅、または小田急線柿生駅から桐蔭学園行きバスで約 15 分





南極のコウテイペンギン



北極のオーロラ



ヤナギランの仲間が咲く北極の風景



南極の白夜、沈まない太陽



南極観測船「しらせ」



「南極・北極展」開催にあたって

学校法人桐蔭学園理事長 平岩 敬一

南極・北極というと皆さんはどんなイメージを浮かべるでしょうか。一年中氷に覆われているマイナス何十度の世界、ペンギンやホッキョクグマが暮らし、息をのむほど美しいオーロラが満天に降り注ぐところ……。

では、ペンギンやホッキョクグマなど極地に生息する生きものたちは、その厳しい環境にどのように適応しているのでしょうか。オーロラはどのようにして出現するのでしょうか。太陽がまったく沈まない時期（白夜）と、のぼらない時期（極夜）があるのはなぜでしょうか。南極でたくさんの隕石が発見される理由は？ 北極に咲く花々を知っていますか？

南極大陸は地球で最も古い大地です。どこの国の領土でもなく、国境も軍事基地もない世界唯一の大陸です。そして、ありのままの自然がそのままの姿で残っている、地球上でも数少ない場所です。太古からの岩石や植物の化石、何十万年も前に降り積もった雪が氷となって残っており、過去の地球の姿を知ることができます。一方、北極は海の上に浮かぶ氷です。大陸と地続きで、人間活動が盛んにおこなわれており、地球温暖化に最も敏感に反応する地域であると考えられています。1980年代から、北極の海水面積は減少傾向を示しており、海水上を生活の場としているホッキョクグマの個体も少なくなっていることが観測されています。このように、南極・北極は地球にとって大切な場所であり、観測結果は私たちの環境にとっても非常に大きな意味をもっていることがわかります。

今回の「南極・北極展」では、国立極地研究所にご協力いただき、南極・北極それぞれの観測基地を拠点に日本がおこなっている観測・調査結果などをパネルや写真、映像、模型等を使って分かりやすく紹介いたします。また、アデリーペンギンなど動物のはく製や北極に咲く花の標本、岩石・隕石などの貴重な資料を展示いたします。

桐蔭生のみなさん、南極・北極の“ふしぎ”を探りながら、私たちが暮らす地球について考えてみましょう。そしていつか訪れるかもしれない、南極・北極に関心をもってもらえればと思います。



南極 北極展

交通のご案内



<各駅からのバスのご案内>

- 東急田園都市線 青葉台駅よりバス「桐蔭学園前」行、終点。または「市が尾駅」行、「桐蔭学園前」下車
- 東急田園都市線 市が尾駅よりバス「桐蔭学園前」行、終点。または「青葉台駅」行、「桐蔭学園前」下車。または「柿生駅北口」行、「桐蔭学園入口」下車
- 小田急線 柿生駅よりバス「桐蔭学園」行、終点。または「市が尾駅」行、「桐蔭学園入口」下車

<タクシーご利用の場合>

東急田園都市線 青葉台駅、または小田急線 柿生駅からが便利です。行き先は「桐蔭学園鉄（くろがね）神社前」とお伝えください。
※駐車場はございませんので、お車の来場はご遠慮ください。



北極に咲く花のひとつ、タカネマンテマ